

これはJoelの機能仕様書のサンプルです。説明目的で作られており、ここで言及されているのは現実の製品・サービスではありません。

---

# WhatTimelsIt.com

## 機能仕様書

オリジナル作成 ジョエル・スポルスキ  
一部改変 寺田英雄  
最終更新日: 2014/01/07

- 極秘 -

© 2000 Fog Creek Software, Inc. All Rights Reserved.

---

### 目次

[はじめに](#)

[シナリオ](#)

[シナリオ 1: 佐藤社長](#)

[シナリオ 2: ミク](#)

[対象外](#)

[WhatTimelsIt.com 概略フローチャート](#)

[画面ごとの仕様](#)

[スプラッシュスクリーン\(Splash Screen\)](#)

[未解決の問題](#)

[ホームページ\(Home Page\)](#)

[技術メモ](#)

[ログインフォーム\(Log In Form\)](#)

[技術メモ](#)

[未解決の問題](#)

[未解決の問題](#)

[登録フォーム\(Sign Up Form\)](#)

[ユーザ属性入力\(Demographics\)](#)

[タイムゾーン設定\(Set Time Zone\)](#)

[時刻表示\(Display Time\)](#)

## 1. はじめに

WhatTimelsIt.com はWeb上で現在時刻を人々に知らせるサービスである。この仕様書は WhatTimelsIt.com サービスを利用するときユーザが体験するものだけについて説明する。時間計算エンジンで使用されるアルゴリズム等については記述しない。それは別途技術仕様書等で検討する。

この仕様書は不完全である。すべての内容は完成までに数回改訂される必要があるだろう。画面の画像及びレイアウトは機能を説明する目的で示されている。実際のルックアンドフィールはグラフィックデザイナーがデザイン設計し、さらにユーザからのフィードバックを繰り返すことにより、長期にわたって改良されることになるだろう。

## 2. シナリオ

関係者の共通理解を深めるため、典型的な想定ユーザが、このサービスをどのように使うかというストーリーを以下に記述する。ここでは2つのシナリオを示す。

### 2.1. シナリオ 1: 佐藤社長

佐藤社長は多忙な経営者である。彼は全国チェーン店で販売されている子供向け製品を製造する大企業の社長である。

彼のごく普通の1日を見てみよう。彼は、非常に重要な人々との会議にいくつも出席する。取引先の社長がやってきて、製品改良の要望を長々と聞かせてくれる。経営会議では、役員たちからの報告や提案に粘り強く耳を傾ける。

しかし、ここで問題が生じた。訪問者たちはA社長と会う約束したはずなのに、そのときになってみると彼がどこにも見あたらないことにとっても怒っているのである。その原因は、A社長が今何時なのかわからないことだった。

問題解決のため、A社長は秘書の薦めに従って **WhatTimelsIt.com** に入会した。そのおかげで、彼は時刻が知りたいときにはいつでも、単に **WhatTimelsIt.com** にログインしてユーザ名とパスワードを入力するだけで現在時刻を知ることができるようになったのである。すばらしい！

彼は日に何度もこのサイトを訪れる: 昼食時間がいつか知るために、次の会議に遅れないかチェックするために、などなど。さらには、一日の終わり近く、実際には午後3時頃からは、いつ家に帰れるのかと頻りにこのサイトをチェックするようになった。4:45ごろには彼はブラウザの「再読込」ボタンを繰り返し押し続けているというのが日課となっている。

### 2.2. シナリオ 2: ミク

ミクは高校に通う少女である。とても頭のいい彼女は、午後2時に家に帰って代数の宿題を終わらせるのに7分ほどしかかからない。

その後彼女は午後2時7分から夕食時間の6:30までの間、ネットサーフィンしたり、友達とチャットしたりして過ごす。しかし、チャットに熱中しすぎて夕食の時間を過ぎてしまうのがよくあった。

ミクはいつも面白いWebサイトを探している。あるとき、検索エンジンに「今何時?」と入力した結果として(彼女はインスタントメッセージで友達に聞くんもりで、間違っただけだった)、彼女は **WhatTimelsIt.com** に行き着き、新しいアカウントをセットアップした。彼女はユーザネームを選択しパスワードを設定し、タイムゾーンを選択するだけで、今何時かを知ることができたのだ。これで夕食に遅れることも少なくなった。

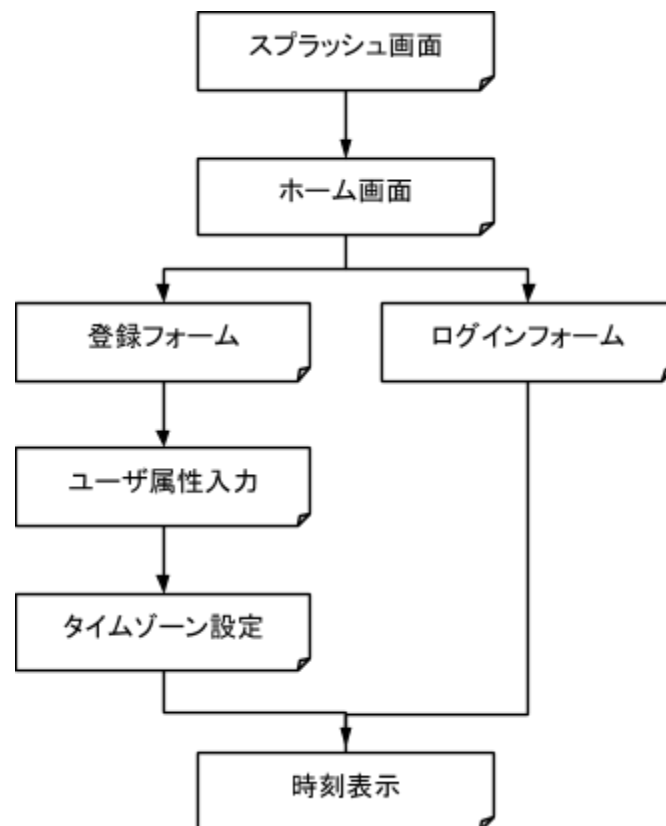
### 3. 対象外

このバージョンでは以下の機能はサポートしない:

- 一人のユーザに対する複数のタイムゾーン。すべてのメンバーは同じタイムゾーンに属すると仮定する。
- パスワードの変更
- 予約

### 4. 概略フローチャート

退屈な詳細は後で技術仕様書で扱うことにして、ここでは全体像を捉えるため本サービスの概略のフローチャートを示す。このフローチャートは完全ではないが、WhatTimeIsIt.com 使用時の大まかなイメージを掴めるだろう。



図：概略フローチャート

### 5. 画面ごとの仕様

**WhatTimeIsIt.com** はかなりの数の異なる画面からなる。多くのスクリーンは標準的なフォーマットに従っており、ルックアンドフィールは後日グラフィックデザイナーによって設計されるだろう。この仕様書では正確なルックアンドフィールではなく、機能およびインタラクシオンの仕様について説明する。

すべての画面はHTMLで作成される。**WhatTimeIsIt.com** のそれぞれの画面には正式名称があり、このドキュメントではそれを下線付きで表示するので、画面が参照されている場合にそれとわかるようになっている。例: Home Page。

## 5.1. スプラッシュスクリーン(Splash Screen)

Splash Screen では、HTML5 アニメーション+音楽でブランドイメージを伝える。アニメーションのデザインは、グラフィックデザインチームが担当する。

アニメーションが10秒間ほど再生された後、「スキップする」と書かれたリンクが右下隅に徐々に現れる。ユーザがこれを見つけてクリックするのを避けるため、「スキップする」はずっと右下の方に置かれ、ほとんどの人はこれに気づかないだろう。それは少なくともアニメーションの左端から800ピクセル、上端から600ピクセル離れていなければならない。

「スキップする」をクリックするとHome Pageに移動する。アニメーションが終わったら、ブラウザを自動的にHome Pageにリダイレクトする。

### 5.1.1. 未解決の問題

マーケティング部門が許すなら、ユーザー側ブラウザにクッキーを置き、彼らが「スキップする」をクリックすると、それ以降は常にSplash Screenがスキップされるようにすべきだ。頻繁に訪れるユーザはSplash Screenを2回以上見る必要はない。私はマーケティング部長にこのことを話したので、彼は販売、マーケティング、PRの委員会を招集して議論するだろう。

## 5.2. ホームページ(Home Page)

Splash Screen のアニメーションが終わると表示されるHome Pageには、3つの目的がある:

1. 人々にサービスについて学んでもらい、加入を検討してもらう
2. すでに加入しているメンバーがログインする
3. 加入したい人々がアカウントを作成する

Home Pageは以下のような外観をしている:

<p><b>WhatTimeIsIt.com</b>  <b>WhatTimeIsIt.com</b> へようこそ。このサービスは<b>正確な</b>現在時刻をお知らせします。</p>	<p>まだメンバーになってない方は、心配しないで—加入は<b>無料</b>です! そう、その通</p>
--	---

(あなたが受け取る結果は違っているかもしれませんが、私たちは送信時やあなたのコンピュータにおける遅延には責任を持ってませんが、それによって**実際の時刻**が表示時刻より進むことがあります。このサービスは**現状のまま**で提供され、娯楽目的であり、正確な時間管理が目的ではありません。**WhatTimeIsIt.com**を耳につこんだり、耳掃除に使用したりしないでください。)

**WhatTimeIsIt.com**は簡単で、しかも楽しいです。もしまだメンバーでないのでしたら、すぐ加入し、**すでにメンバーになっている方は、[ここをクリック](#)**してログインしてください。

り、ただなんです! すぐに[ここをクリック](#)してサインアップしてください。**数分**で今の時刻を知ることができるようになります。

[プライバシー](#) | [会社概要](#) | [採用情報](#) | [問合せ先](#)  
**WhatTimeIsIt.com**[について](#)にて、今何時かを見出ししてください!

この画面、および他の**すべての画面**で、左上にある **WhatTimeIsIt.com** のロゴをクリックするとHome Pageに戻る。

### 5.2.1. 技術メモ

このサービスで使われる画面同士はとても良く似ているので、サービスの名称が変更された場合や我々の望むドメインネームが取得できなかった場合にも、すべての画面を一カ所で変更できるよう、何らかのサーバ側データの**インクルード**システムを使用すべきである。私は Vignette StoryServer を勧めたい。そう、これは確かに少々高価であり、2,00万円 もかかる。しかしこれはサーバサイドインクルードを使うよりずっと簡単なのだ!

「[ここをクリックしてログイン](#)」と書かれたリンクをクリックすると**Log In Form**に移動する。「[ここをクリックしてサインアップ](#)」と書かれたリンクをクリックすると、**Sign Up Form**に移動する。

他の5つのリンクはマネジメントにより提供される静的テキストのページを表示するが、それはこの仕様書の範囲外である。それらはあまり頻繁に変更する必要はないだろう。

## 5.3. ログインフォーム(Log In Form)

**Log In Form**は現メンバーがアカウントにログインし、現在時刻を取得するために使用される。これは以下のような外観をしている:

### WhatTimeIsIt.com

emailアドレスを入力してください:

パスワードを入力してください:

まだメンバーになってない方は、心配しないで—加入は**無料**です! そう、その通り、ただなんです! すぐに[ここをクリック](#)してサインアップしてください。**数分**で今の時刻を知ることができるようになります。

<div data-bbox="541 210 764 273" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ログイン</div> <p>パスワードをお忘れですか? emailアドレスだけ入力すれば、パスワードをemailでお送りします。</p>	<p style="text-align: center;"> <a href="#">プライバシー</a>   <a href="#">会社概要</a>   <a href="#">採用情報</a>   <a href="#">問合せ先</a>  <a href="#">WhatTimelst.com</a> <a href="#">について</a> </p>
--	--

右側の画面は、[Home Page](#)のところで記述したのと同じように振る舞う。emailテキストボックスは60文字まで入力できる。パスワードテキストボックスは12文字まで入力できる。ハッキング防止のため、ユーザがパスワードボックスへ入力すると、入力された文字のかわりにアスタリスク(\*)を表示すること。

### 5.3.1. 技術メモ

これには<INPUT TYPE=PASSWORD>を使えばよい。

ユーザが「ログイン」をクリックすると、以下のチェックがサーバで実行される:

1. emailアドレスが提示されたが、フォーマットが正しくなくて実際のemailアドレスとは見なせない場合(たとえば@マークがないとか、RFC-822でemailアドレスでの使用が許されていない文字が含まれているとか)、サーバはLog In Formとよく似ている別のページを返す。ただし、このページではアドレスボックスの上に赤文字でエラーメッセージ「**emailアドレスが正しくありません。もう一度確認してください。**」が挿入されている。  
このテキストは赤だが、テキスト「emailアドレスを入力してください」の部分は黒のままである。ユーザが入力した誤ったemailアドレスは、あらかじめエディットボックスに設定される。
2. 入力されたemailアドレスが登録メンバーのものではない場合、サーバはLog In Formとよく似ている別のページを返す。ただし、このページではアドレスボックスの上に赤文字でエラーメッセージ「**emailアドレスは登録されていません。もう一度確認してください。メンバーになるには、画面右側のリンクをクリックしてください。**」が挿入されている。  
このテキストは赤だが、テキスト「emailアドレスを入力してください」の部分は黒のままである。[開発者への質問。JavaScriptを使って、ユーザがメンバー登録のリンクをクリックしたときに、入力されたemailアドレスを自動的に登録フォームに設定することは可能か?]
3. 入力されたemailアドレスが登録ユーザのものであるが、パスワードが入力されなかった場合、そのアドレスにパスワードを含むemailが送信される。emailの件名は「あなたのWhatTimelst.comメンバシップ」である。emailはプレーンテキストとする。emailの詳細な文面は取締役会で熱心に討論されており、出荷前のどの時点かで提供されるだろう。
4. emailアドレスが登録ユーザのものとは一致し、パスワードが誤っている場合、

サーバはLog In Formとよく似ている別のページを返す。ただし、このページではアドレスボックスの上に赤文字でエラーメッセージ「**入力されたパスワードが間違っています。もう一度確認してください。<sup>1</sup>パスワードの大文字小文字は区別されます。**」を挿入しておく。

パスワードが小文字を一つも含まない場合、メッセージにテキスト「**キャップスがロックされていませんか?**」を追加する。パスワードが正しくない場合はいつでも、Log In Formのパスワードボックスはクリアされる。

5. emailアドレスとパスワードが正しい場合、Display Timeに移動する。

### 5.3.2. 未解決の問題

2番目のケースでJavaScriptについての決定を行う必要がある。

### 5.3.3. 未解決の問題

パスワードを返信するemailのためのCEOの文面が必要である。

## 5.4. 登録フォーム(Sign Up Form)

未定

## 5.5. ユーザ属性入力(Demographics)

未定

## 5.6. タイムゾーン設定(Set Time Zone)

未定

## 5.7. 時刻表示(Display Time)

未定

以上

---

<sup>1</sup> 筆者注：この仕様はオリジナル版のままですが、このように登録ユーザかどうかによってエラー結果が異なることで、登録ユーザIDが見破られてしまう設計は、現代的な視点で見るとセキュリティ的に問題のある仕様かもしれません。本書はあくまでも機能仕様書のスタイルを示すためのものなので、他の箇所も含めて、ここに記載されている仕様を模範例とは考えないでください。